

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2026 年 4 月 10 日作成 第 1.0 版

研究課題名	介護施設で発生した院外心肺停止症例の特徴と転帰：横浜市における人口ベース後ろ向き観察研究
研究の対象	2020 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの間に、横浜市内（横浜市消防局管内）で発生し、救急隊により心肺蘇生が施行された 18 歳以上の院外心肺停止（心停止）の患者さんのうち、発症場所が介護施設または自宅の方を対象とします。
研究の目的	日本では高齢化が進み、介護施設で発生する心肺停止が増えています。介護施設で発生した心肺停止は、ご自宅で発生した場合と比べて、救命率や、意識などが元通りに回復する割合が異なることが報告されていますが、横浜市のような大都市でどのような状況になっているかについては十分に分かりません。 そこで本研究では、横浜市消防局から提供された OHCA（院外心肺停止）レジストリの情報を用いて、介護施設で発生した心肺停止とご自宅で発生した心肺停止を比較し、発症場所の違いが 1 か月後の生存率や脳機能（意識の戻り具合）にどのように影響するかを調べます。この結果を今後の介護施設における救急対応や、高齢者の救急医療体制の改善に役立てることを目的としています。
研究の方法	横浜市消防局が保有する OHCA（院外心肺停止）レジストリから、本研究期間中に横浜市内で発生した心肺停止患者さんの情報（年齢、性別、発症場所、心停止時の状況、救急隊の対応、心電図波形、1 か月後の生存や脳機能の状態等）の提供を受け、その情報をもとに統計的な解析を行います。 本研究は、個人情報的加工して作成された個人データを横浜市消防局より入手して行う研究であり、当該個人データは、特定の個人を識別することができる記述等が削除されており、個人を特定することはできません。通常の救急搬送および診療で得られた情報のみを用いますので、研究対象の方に新たに検査やご負担をお願いすることは一切ありません。
研究期間	西暦 2026 年 6 月 8 日（研究機関の長の許可日） ～ 西暦 2027 年 3 月 31 日 情報の利用、提供を開始する予定日：西暦 2026 年 6 月 8 日（研究機関の長の許可日）

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

研究に用いる 試料・情報 の項目	【情報】横浜市消防局 OHCA レジストリから以下の情報を収集します。 ・ 背景情報：年齢、性別、発症場所（介護施設／自宅） ・ 心肺停止時の状況：目撃の有無、居合わせた方（バイスタンダー）による心肺蘇生、AED による除細動の有無、推定される発症原因 ・ 救急隊の対応：覚知時刻、現場到着時刻、患者接触時刻、救急隊による心肺蘇生・気道確保・静脈路確保・エピネフリン（強心剤）投与・除細動の有無 ・ 心電図波形：救急隊到着時の最初の心電図波形（心室細動、無脈性心室頻拍、無脈性電気活動、心静止等） ・ 病院前および病院到着時の状態：病院到着前の心拍再開の有無、病院到着時の心拍再開の有無 ・ 転帰：発症 1 か月後の生存、発症 1 か月後の脳機能（CPC：脳機能カテゴリー）
試料・情報の 授受	本研究では、横浜市消防局に登録されている OHCA レジストリデータの提供を受けて実施します。 データを提供される際は、個人を特定できる情報を含まないデータセットを、暗号化した記録媒体（パスワード保護された USB メモリ等）により提供を受けます。 提供を受けた情報は、本研究の終了について報告された日から 5 年を経過した日、または研究結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日まで、当院（横浜市立大学附属病院救急科）で適切に保管します。保管期間終了後、電子データは復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管 理	本研究は、個人情報を加工して作成された個人データを横浜市消防局より入手し行う研究であり、当該個人データは、特定の個人を識別することができる記述等が削除され、個人を特定することができません。本研究において収集した情報及び文書・記録は、横浜市立大学附属病院救急科の医局で保管し、紙媒体の資料・情報は施錠可能なロッカーにて保管します。電子データは所定のハードディスクドライブに記録し、パスワード保護のうえ施錠可能なキャビネットにて保管します。 横浜市消防局においても対応表等は当院に提供されないため、当院で個人を特定することはできません。
試料・情報の 管理について 責任を有する 者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院 救急科 佐藤公亮

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。 本研究は、研究責任者が所属する診療科の基礎研究費を用いて行います。本研究の計画・実施・報告にあたり、開示すべき利益相反はありません。
研究組織 （利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 救急科 （研究責任者）佐藤公亮
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 本研究では、個人を特定できる情報を含まないかたちで情報の提供を受けます。当院で個人を特定することができないため、研究利用への拒否の連絡をいただいた際対応いたしかねますことをご了承ください。	
問合せ先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 救急科 （研究責任者・問い合わせ担当者）佐藤公亮 電話番号：045－787-2800（代表）	